

日程表：第1日目 10月7日（土）

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
北海道大学 学術交流会館	第1会場													
	第2会場													
	第3会場													
	ポスター会場													
TKP 札幌駅カンファレンスセンター	第4会場	WS 受付	9:30-12:30 WS17 集団認知行動療法の工夫と実践 松永 美希・草岡 章大				WS 受付	13:30-16:30 TG4 面接の構造化と基本的態度・応答技術 田中 恒彦・首藤 祐介			WS 受付	17:00-20:00 TG5 認知行動療法を構成する基本技法 金井 嘉宏		
	第5会場						WS 受付	13:30-16:30 WS13 Advanced cognitive behavioral therapy for pathological/ disordered gambling Robert Ladouceur			WS 受付	17:00-20:00 WS23 コミュニティ強化と家族トレーニング(CRAFT)に基づく家族支援 境 泉洋・山本 彩・辻 由依		
	第6会場													
	第7会場	WS 受付	9:30-12:30 WS24 ABAに基づいた就労移行支援事業所におけるスタッフトレーニング～福祉領域における行動分析を用いたスーパーヴィジョン～ 陶 貴行・恒吉麻実子				WS 受付	13:30-16:30 WS21 援助要請を促進するカウンセリング 本田 真大			WS 受付	17:00-20:00 WS25 トラウマ・センシティブ・ヨーガ 小林 茂・高松 円		

日程表：第2日目 10月8日（日）

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
北海道大学 学術交流会館	第1会場		10:00- 開会式	10:30-12:30 大会企画シンポジウム1 産業界面での 神経発達症への対応 ～産業界、心理師、 弁護士との立場から 金澤潤一郎・小林 幸太・ 池田 浩之・鷺見 悠		13:00-14:30 特別講演1 認知行動療法と コンパッション コンパッションは 脅威刺激からの 回避行動を減らすー 金井 嘉宏		15:00-16:00 教育講演2 デジタル-人間融合 による精神の 超高精細ケア :人工知能技術は 心理療法を 変革するか？ 伊藤 正哉		16:30-17:30 教育講演3 鼎談企画 「認知行動療法 あれこれ」 坂野 雄二 原井 宏明 杉若 弘子		18:30-20:30 懇親会 ホテル マイステイズ 札幌アспен 2F	
	第2会場				12:00-13:00 教育講演1 看護師が 認知行動療法を 実践するために 必要な連携 一交渉力で実現する 環境調整の事例ー 川野 直久				16:00-17:30 特別企画4 認知行動療法 スーパーバイザー 研修会 鈴木 伸一				
	第3会場				12:00-12:45 内山記念賞 受賞講演 発達障害のある 児童の漢字の 読みに対する 対策へアタリ 手紙きを用いた 遠隔地学習支援の 効果 野田 航			15:00-16:30 特別企画3 ダイバーシティ推進委員会 企画シンポジウム 日本認知・行動療法学会に おけるジェンダーバランスを 実現するために必要なこと 佐藤 美幸・松永 美希・ 土井 理絵・栗林 千聡・ 大橋 崇・熊野 宏昭・ 戸ヶ崎奏子			17:30- 18:00 臨時社員総会		
	ポスター会場		ポスター貼付・掲示・閲覧					14:00-14:45 責任 在籍時間 (P1-奇数)	14:45-15:30 責任 在籍時間 (P1-偶数)	15:30-17:00 ポスター閲覧		17:00-18:00 撤去	
TKP札幌駅前 カンファレンスセンター	第4会場				12:30-14:00 特別企画2 公認心理師対応委員会 くセラピーではない！ 認知・行動療法の活かし方: 「公認心理師」時代における 新たなアイディアと展開 武藤 崇・藤本 志乃・ 津田 菜摘・嶋田 洋徳					16:30-18:00 自主企画 シンポジウム7 臨床家がロボット、 アバター、及び ビッグデータと 連携する方法 横谷 謙次			
	第5会場		10:30-12:00 自主企画 シンポジウム1 新時代を生きる 子どもの現状を捉えた 支援のために ーネット問題の 課題・予防・援助ー 瀧井 美緒		12:30-14:00 自主企画 シンポジウム3 ADHDに効果的な 認知行動的技法 及びその組み合わせの 特定と最良の介入 プログラムを考える 濱谷 沙世			14:30-16:00 自主企画 シンポジウム5 不登校への認知・行動療法 アプローチの現在2 ースクールカウンセラー による再登校支援の 効果と課題ー 小野 昌彦					
	第6会場		10:30-12:00 自主企画 シンポジウム2 エキスパーチャー 実践のコツ ーエキスパートが答える 初學者・中堅者の疑問ー 長儀 拓		12:30-14:00 自主企画 シンポジウム4 慢性・身体疾患患者 に対する 認知行動療法 の普及に向けて 畑 琴音			14:30-16:00 自主企画 シンポジウム6 学校で使える 認知・行動療法Part3 ～SOSの出し方に 関する教育～ 江畑 慎吾		16:30-18:00 自主企画 シンポジウム8 現場で出会うトラウマを 身近に考える3 ートラウマへの気づきと 実践の工夫と課題ー 成瀬 麻夕			
	第7会場			12:30-14:00 ケーススタディ1 若年男性の 慢性頭痛における 「行動分析に基づく 心理教育」の効果に 関する一考察 横地 歩			14:30-16:00 ケーススタディ2 来院が困難な患者に対して 精神科診療所の受付に できること ー強迫症と注意欠如・ 多動症を併せた 患者の事例からー 松浦 文香		16:30-18:00 ケーススタディ3 精神疾患休職中の 学校職員に対し、 認知再構成、 行動活性化等により、 もとの職場に 完全復帰した2事例ー 本人の認知行動変容を中心 大前 泰彦				

日程表：第3日目 10月9日（月・祝）

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
北海道大学 学術交流会館	第1会場		9:30-11:30 特別講演2 New Directions in Cognitive-Behavioral Therapy for Adult ADHD Laura E. Knouse		11:45-12:45 会員集会	13:00-14:00 教育講演4 医療行動経済学の理論と実践 平井 啓		14:30-16:30 大会企画シンポジウム3 歯科心身症における治療連携と認知行動療法の可能性 本谷 亮・豊福 明・安彦 善裕・竹之下美穂・松岡 紘史・山崎 裕・大月 友		16:30- 閉会式			
	第2会場		9:30-11:30 大会企画シンポジウム2 認知行動療法を活用したオンラインメンタルヘルス相談支援の社会受容性シンポジウム 清水 栄司・冨家 直明・大橋 将一・横山 太範・小川晋一郎					14:30-15:30 教育講演5 ABAを用いたリハビリテーション 遠藤 晃祥					
	第3会場		9:30-11:00 特別企画5 編集委員会企画シンポジウム 生成AIの出現は、論文執筆を激変させるのか？ 岡島 義・川島 一朗・土井 理美・重松 潤・国里 愛彦・佐藤 寛						15:30-16:30 教育講演6 限同性学習症のアセスメントと支援、合理的配慮 柳生 一自				
	ポスター会場		ポスター貼付・掲示・閲覧	10:45-11:30 責任 在籍時間 (P2-奇数)	11:30-13:00 ポスター閲覧	13:00-13:45 責任 在籍時間 (P2-偶数)	13:45-15:30 ポスター閲覧		15:30-16:30 撤去				
TKP札幌駅前カンファレンスセンター	第4会場		9:30-11:00 自主企画シンポジウム9 行動療法は事例から学べ：5年目を迎えた京行研 原井 宏明		11:30-13:00 自主企画シンポジウム12 日常生活のデータから臨床精度を高めよう－生態学的アセスメントと継続測定－ 齋藤 順一		13:30-15:00 自主企画シンポジウム15 子どものメンタルヘルス不調の早期発見・支援におけるストレスチェックの可能性 戸ヶ崎泰子						
	第5会場		9:30-11:00 自主企画シンポジウム10 マイノリティへのマイクロアグレッションと認知行動療法 高階 光梨		11:30-13:00 自主企画シンポジウム13 親子相互交流療法(PCIT)の適用可能性：対象と方法の広がり 佐藤 美幸		13:30-15:00 自主企画シンポジウム16 障害福祉サービスにおける認知行動療法の実践と可能性 堀川 清司						
	第6会場		9:30-11:00 自主企画シンポジウム11 演題取り下げ		11:30-13:00 自主企画シンポジウム14 先進的なデータ収集・解析技術によって認知行動療法の実践はどう変わるか？ 梶原 潤								
	第7会場		9:30-11:00 ケーススタディ4 精神病性的特徴を伴ううつ病に併存したパニック症・広場恐怖症の青年に対する短期エクスポージャー・クライアントのリソースを活用した治療効率化の試み 坂田 昌嗣		11:30-13:00 ケーススタディ5 挨拶の時に声が出ないと訴える男性に対して、社交不安症の認知行動療法のプロトコルを適用したケース 江藤 愛子		13:30-15:00 ケーススタディ6 不合理感が乏しく治療に難渋している強迫症の一例 松尾 陽						